

登録コード	L1931400	開講年度	2026				
担当教員	佐藤 真紀			副担当			
授業科目	西洋史特論						
英文授業名	Lecture of European and American History						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限
講義室	人文第2講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			史実を知り定説的見解を問い直すことができるようになる			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			古典的解釈を理解した上でその問題点も理解できるようになる			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	フランス革命を、食糧暴動から考える。						
授業計画	第1週 オリエンテーション 第2週 レポートの書き方についての指導 第3週 階級で語られるフランス革命 第4週 参考とするべき研究—トムスン 第5週 参考とするべき研究—プトン 第6週 ダンケルクの市政 第7週 密輸 第8週 様々な「事実」市当局 第9週 様々な「事実」ディストリクト・県 第10週 様々な「事実」モンディヴェール 第11週 様々な「事実」ジラルドン 第12週 責任の所在 第13週 市当局の画策 第14週 市当局がめざしたもの 第15週 複合革命論の問題点						
成績評価の方法	レポート80パーセント、授業態度20パーセントで評価する。						
成績評価の基準	参加をすることが前提である。 期末レポートが、テーマの問いに答える内容で、指定された様式（文章にすることや註をつけること）に従っていれば、『かなり上にある』と評価される。テーマの問いに答える努力がみられ、様式に従っていれば『やや上にある』と評価される。テーマの問いに答える努力がみられ、かつ、指定された様式に従う努力がみられるのであれば、『その水準にある』とみなされる。『かなり上にある』の条件を満たしたうえで、外国語文献を含めた広い情報源を利用して考察を行った内容であれば、『卓越している』とみなされる。						
事前事後学習の内容	事前にフランス史の概説書を読み進めておくこと。 事後に、近代フランス社会についての研究書・論文等を読むことが好ましい。						
履修上の注意	特になし。						
質問、相談への対応	maquis@shinshu-u.ac.jpにメールしてください。						
教科書	特になし						
参考書	授業時に指示する。						